



2024年8月14日

各位

会社名 ID&E ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 新屋 浩明  
(コード 9161 東証プライム)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長  
小泉 慎  
TEL 03-5276-2454

## ID&E グループ中期経営計画 Building Growth 2027 策定のお知らせ

当社は、2024年7月から2027年6月までの3カ年の中期経営計画「Building Growth 2027」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

また、マテリアリティ(最重要課題)を改定いたしましたので併せてお知らせいたします。

### 1. ID&E グループのありたい姿

当社グループは、「誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。」を経営理念としています。「世界をすみよくする」ことをMission(私たちの使命)、「誠意をもってことにあたれば、必ず途(みち)は拓(ひら)ける」をValues(共通の価値観)とし、結束したグローバル企業集団へと進化することで「唯一無二の価値を提供する会社」をVision(なりたい姿)として掲げています。

当社グループは、コンセプトを「共創。限界なき未来に挑む」とする長期経営戦略「ID&E グローバル戦略2030」において、2030年6月期の数値目標を売上収益2,500億円、営業利益250億円、営業利益率10%、ROE15%としています。社内および社外の多様なパートナーとの「共創」を通じ、知の探究と技術の革新・統合により新たな価値を提供し、人々が豊かさを実感できる社会の実現に貢献する企業グループを目指しています。

当社の設立母体である日本工営株式会社の創業以来、社会課題解決を事業としてきたID&Eグループにとって、サステナビリティは経営の中核であり、事業展開と一体不可分のものです。サステナビリティ経営のグループ内浸透と定着を図り、2030年のターゲット達成に向けて、経営・事業両面での取り組みを加速させてまいります。

### 2. マテリアリティ

市場環境の変化およびID&Eグループの持続的成長に向けた事業領域を再検討のうえで、マテリアリティ(最重要課題)を以下の5つに改定しました。

マテリアリティ -IDEALな世界の実現に向けて-	
分断・格差のない世界の構築	
■ グローバルな視点と地域に根ざした取り組みにより、インフラ開発・人づくりへ貢献する	主な2030年目標値 • 人権影響評価調査を毎年、確実に実施する

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多様な技術の統合により、強靱な社会を実現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災・減災関連売上高：160 億円</li> <li>● 防災・減災に関する研究開発費・投資額：関連売上高の 3.2%</li> </ul>
<b>すみよい地球環境の実現</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安全で安定したエネルギーの供給により、グリーンな社会を構築する</li> <li>■ 人と自然が共生できる空間づくりにより、幸せを感じる生活を実現する</li> <li>■ 多彩なアプローチにより、気候変動や生態系回復に挑戦する</li> </ul>	<u>主な 2030 年目標値</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サステナビリティ課題対応ビジネスの売上高：440 億円</li> <li>● 事業を通じた GHG 削減貢献量：直接貢献 36,000 tCo2、間接貢献 1,000,000 tCo2</li> <li>● 再生可能エネルギー・次世代エネルギーに関する研究開発費・投資額：関連売上高の 15%</li> </ul>
<b>共創による新たな社会課題への挑戦</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3 事業セグメントの技術の結集により、多様な社会の要請に応える</li> <li>■ 顧客や異業種パートナーとの連携により、新たな価値を創出する</li> <li>■ グループ一体となった技術開発により、競争力を高める</li> </ul>	<u>主な 2030 年目標値</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ内外共創事業売上高：100 億円</li> <li>● AI をはじめとした先端技術の研究開発費・投資額：10 億円</li> </ul>
<b>多様なグループ人財の活躍</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Well-being 経営により、エンゲージメントを高める</li> <li>■ ID&amp;E グローバルアカデミーにより、従業員の成長と活躍の機会を創出する</li> </ul>	<u>主な 2030 年目標値</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性管理職比率：15%</li> <li>● 男女間賃金格差：80%</li> <li>● DX 人財育成のための研修の累計受講者数：600 名増加</li> </ul>
<b>誠意と技術を軸にしたグループ経営</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 誠意をもってことにあたる組織風土により、社会との信頼関係を深める</li> <li>■ ID&amp;E ブランドの追求により、高品質な技術・サービスを持続的に提供する</li> <li>■ ステークホルダーとの対話を通して、相互理解を促進し社会の要請に応える</li> </ul>	<u>主な 2030 年目標値</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンプライアンス研修の実施割合：100%</li> <li>● 技術士数：2,400 名</li> </ul>

### 3. ID&E グループ中期経営計画 Building Growth 2027 の要旨

現在推進中の長期経営戦略では「変革期」「展開期」「飛躍期」の3つのステップを定め、1st ステップの「変革期」にあたる昨年度までの中期経営計画「Building Resilience 2024」においては、長期経営戦略を実現するための基盤整備を図るべく3つの強靱化策を推進しました。

本年度からは、強靱化策により構築した基盤を有効に活用する 2nd ステップの「展開期」と位置づけ、中期経営計画「Building Growth 2027」を策定しました。

- (1) 基本方針および展開策  
基本方針を「**主力3事業の持続的成長と事業間の共創による事業領域の拡大**」とし、3つの展開策に取り組みます。

#### **展開策1. 成長に向けた改革**

事業の持続可能性の強化や複合化するニーズへの対応のため、民間市場における当社グループのソリューションへのニーズは高まっており、さらなる成長が見込める民間市場への本格参入を目指し、改革を進めます。また、事業ポートフォリオマネジメントの強化により、経営資源の最適化を図ります。

#### **展開策2. マトリクス経営の展開**

持株会社体制のもと、地域軸でのグループ経営を早期に軌道に乗せ、各地域における事業ポートフォリオの最適化と収益の最大化を目指します。

#### **展開策3. 人財・技術の進化**

当社グループのブランドおよびクオリティの源泉である「人財」については、人財育成のための共創プラットフォーム「ID&E グローバルアカデミー」を軸にタレントマネジメントや教育研修等をさらに強化するとともに、DE&I および Well-being 経営を推進します。「技術」については、グループ横断による新技術の開発および実装化に取り組み、業務効率化、新たなビジネスの創出、顧客満足度向上を目指します。

- (2) 財務戦略

当社グループのブランド価値、人財吸引力の維持・向上等の「各種ステークホルダーに対する企業価値の維持・向上」を考慮しつつ、「資本収益性の向上」および「財務の安定性確保」を実現する財務活動を実行します。

資本効率性を重視した経営を推進するため、経営指標目標として ROE 12%の達成を目指します。営業キャッシュ・フローの創出および不動産・政策保有株式の売却等によるキャッシュインにより、株主還元および成長投資等に充当していきます。

株主還元は、安定的な配当を基本方針に配当性向 30%目処を維持することに加え、自己資本を基準にした DOE（自己資本配当率）を新たな指標とし、DOE 2.5%以上を目標とします。

#### **重点戦略**

- 事業ポートフォリオマネジメントの強化
- セグメントにおける利益率向上策の実施およびキャッシュ創出力の向上
- 最適資本構成の実現
- 効率的な資金調達
- 適切な配当方針に基づく株主還元の実施

(3) 数値目標

最終年度である 2027 年 6 月期に、以下の目標達成を目指します。

2027 年 6 月期 目標	連結売上収益	営業利益	営業利益率	ROE
	1,980 億円	180 億円	9%	12%

中期経営計画 数値目標 (単位：百万円)

	2024. 6 実績	2027. 6 計画	増減	増減率
受注高	161, 357	195, 000	33, 643	120. 8%
売上収益	158, 983	198, 000	39, 016	124. 5%
営業利益	14, 124	18, 000	3, 875	127. 4%
コア営業利益	12, 031	18, 000	5, 968	149. 6%
営業利益率 ※ () 内はコア営業利益率	8. 9% (7. 6%)	9. 0% (9. 0%)	0. 1pt (1. 4pt)	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	9, 677	12, 000	2, 322	124. 0%
ROE	11. 3%	12. 0%	0. 7pt	-

中期経営計画 セグメント別数値目標 (単位：百万円)

	2024. 6 実績	2027. 6 計画	増減	増減率
受注高	161, 357	195, 000	33, 643	120. 8%
コンサルティング事業	86, 568	108, 000	21, 431	124. 8%
都市空間事業	49, 874	54, 000	4, 125	108. 3%
エネルギー事業	24, 446	33, 000	8, 553	135. 0%
売上収益	158, 983	198, 000	39, 016	124. 5%
コンサルティング事業	85, 488	107, 000	21, 511	125. 2%
都市空間事業	44, 460	54, 000	9, 539	121. 5%
エネルギー事業	27, 925	36, 000	8, 074	128. 9%
営業利益	14, 124	18, 000	3, 875	127. 4%
コンサルティング事業	10, 647	10, 500	▲147	98. 6%
都市空間事業	1, 968	4, 000	2, 031	203. 2%
エネルギー事業	2, 470	5, 000	2, 529	202. 4%
コア営業利益	12, 031	18, 000	5, 968	149. 6%
コンサルティング事業	7, 814	10, 500	2, 685	134. 4%
都市空間事業	2, 341	4, 000	1, 658	170. 8%
エネルギー事業	2, 897	5, 000	2, 102	172. 6%

ID&E グループ中期経営計画 Building Growth 2027 およびマテリアリティの詳細は当社ホームページに掲載しています。

ID&E グループ中期経営計画 Building Growth 2027

<https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/management/mid-plan/>

マテリアリティ

<https://www.id-and-e-hd.co.jp/sustainability/sustainability-management/materiality/>

以上